

会議の名称	平成20年第3回 鳥海地域協議会
開催日時	平成20年12月18日(木) 午後3時30分
開催場所	由利本荘市鳥海総合支所 紫水館「総合研修室」
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	(次葉 取消線のもの)
(会議次第) 1. あいさつ 鳥海地域協議会会長 理 事 2. 協議事項 ① 鳥海オコジョランドスキー場の運営について ② その他(各課連絡事項) 3. 総 括 鳥海総合支所長	
会議の経過	別紙のとおり

(委員30名)

[illegible]

(会議の経過)	
第3回 鳥海地域協議会	
平成20年12月18日(木) 午後3時30分 開会	
	(開会) (資料確認・説明)
清水振興課長	「ただ今より、平成20年度第3回鳥海地域協議会を開会いたします。はじめに、松田鳥海地域協議会長よりご挨拶申し上げます。」
会長	「皆さん、おばんでございます。今までは夜にやっておりましたけれども、暗くなるという事もありまして、今回はこの時間をお願いした訳であります。今日は午後から行政協力員会議があり、会議続きでご苦勞をおかけしますが、第3回目の地域協議会よろしくお願いします。以前、地域協議会に鷹照副市長が参りまして、唐突にスキー場を廃止する、出張所を廃止するというような話がありました。この会では騒然となって、いろんな協議をしましたけれども、意見書を提出しまして、その後スキー場も出張所も継続されるという事になった訳ですけれども、今までとは少し変わりながらの継続という事で、そういう事も含めて、皆さんのご意見をいただきながらこの会を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。」
清水振興課長	「佐々木理事よりご挨拶申し上げます。」
佐々木理事	「大変お世話になっております。いつもありがとうございます。今日は特に私共のほうから説明、提案というのは無い訳ですけれども、地域のスキー場、その他についてご協議いただきたいと思います。12月18日、雪はまだ降っておりませんが、燃料の高騰等を勘案し、12月の定例議会の方に除雪関連予算という事で9千万ほど増額補正をしました。議員さんもおられますが、明日最終日なので全額お認めいただけるようお願いしております。当初予算で4億8千万くらい、9千万足しますので5億7千万くらいだと思います。それでもまだ、この先1月2月3月と降って足りないという事態になりますと、その時はまた補正すると。議員さんの前と言うのはあれですけれども、19年度の繰越金が結構ありますので、バンバン使っていいという訳ではありませんけれども、予算は心配ないというところであります。議会もそうなんですけれども、今私どもはいろいろ行政改革を進めておりまして、会長さんからもお話がありましたとおりご心配をおかけしております。今、21年度22年度23年度、どうやっていこうかという事も少し真剣に相談しなけりゃならないなと考えております。例えば職員の数ですけれども、今年度末で退職を予定している数が60人おります。そのうち消防職員が4人。ですから、56人退職する予定です。そして、新規採用がこの間発表になりましたけれども8人という事で、56人退職で8人採用ですから、48人減ります。多分来年度末の退職者もそのくらいになると思いますので、ここ2年3年くらいの間に100人くらいの退職者が出て、穴というか欠員が生じるだろうという状態です。これも合併の一つの目的でありまして、職員の数を出来るだけ減らそうと、それに対してどのように対応していったらいいかという事も今考えている次第であります。その時期になりますれば、皆様方にもお示しをし、ご理解いただきたいと思います。いずれ残すところあと1回の地域協議会ですが、皆様方の任期も3月31日という事でありますので、残された期間であります。十分にご協議を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。」

	た。」
清水振興課長	「続いて会議に入らせていただきますが、会議の議長は条例第9条第4項の規定により会長が努めます。」
議長	「それでは協議事項であります鳥海オコジョランドスキー場の運営について、産業課長よりご説明いただき、その後で皆さんからご意見を出していただきたいと思います。よろしくお願いします。」
佐藤産業課長	(鳥海オコジョランドスキー場の運営について、資料を朗読説明)
議長	「ただいま産業課長から20年度の運営計画について説明がありましたけれども、皆さんからご質問があればよろしくお願いします。」
A委員	「かなり営業日数が減っている訳ですけども、どのくらい営業にかかる費用が削減になるのですか。」
佐藤産業課長	「ナイター関係が2月から3月にかけて少なくなる訳でありまして、数字は持ち合わせてきておりませんけれども、営業の部分で食堂部門を外部委託する事によりまして80万くらいは削減になると考えております。そういった事とある程度のボランティアの方々のご協力をいただく事によりまして30万～40万程度の削減、作業員の削減で40～50万。しかし、やはり一定の経費はどうしてもかけなければならないという事で、厳しいという点では変わりありません。」
A委員	「2月に入って金土日は営業するようですけども、本来から言えば2月が1番充実した冬と言いますか、スキーも好条件になる訳ですけども、その時期にこのくらい営業が減るという事はちょっと問題があるんじゃないですか。」
佐藤産業課長	「2月であれば、平日でありますと相当営業成績が落ちる訳です。ただ、やはり練習という事になりますと、この前いろいろ団体の皆さんとお話しましたけれども、もう1日なんとか営業していただければありがたいというお話は承っております。こういう営業計画と言いますか、運営計画でご提案させていただいておりますので、今年の利用の反省を踏まえたものを来年度の課題にという事でなんとかご理解願いたいという事を申し上げます。確かに雪質も良くなるし、2月はスキー場にとってもいい条件なんですけれども、冬休みも終わりますし、利用客の減少という事があるのも事実でありますので、その辺を併せてご理解いただきたいと思います。」
A委員	「確かオコジョランドスキー場は子供の冬季のスポーツ場と、そういう位置づけで始めたと思いますけれども、例えばこういう所に生まれてスキーをやらないうちの子供が最近では増えていると思いますけれども、例えば全県的にスキー大会がある訳ですけども、この営業予定からいくと2月はほとんど練習出来なくなってしまうですね。どこの大会も土日にかけて開催するので、金曜日のみの練習で出場しなければならない。その場合は矢島スキー場を使えという事ですか？」
佐藤産業課長	「ただいまお話ありましたように、確かにこの前スポーツ少年団の代表の方からも同じようなご意見をいただきました。土日大会があるという事で、なかなか練習の時間がとれないだろうというようなご意見でしたが、先ほど申し上げ

	ましたようにいろいろ経営改善を図りながら、その営業設定の中で頑張っていたいただければと思います。矢島に行けとかいうような事ではなく、ご理解いただければと思います。」
A 委員	「財政が厳しいのは分かりましたけれども、2月に入るとやってもやらなくてもいいような日程の組み方なので、それはちょっと納得いかない。2月に入っても1週間のうち3日しか営業日がないというのは問題がある。せめて1週間に4日、もう1日増やすという方向で検討してもらえないですか。これはもう決定している事なんですか？」
佐藤産業課長	「こういう運営計画、方針と言いますか、これでご理解願いたいという事でございます。申し遅れましたが、冬休み中はスキーバスの運行も予定されておりますので、それもお含み置きますようお願いします。」
B 委員	「ただいまスキー場の問題で協議している訳ですが、今やっているのは地域の協議会ではないんですか？決定事項を報告する会ですか？」
議長	「この地域協議会も議決機関とかそういうものではないものですから、今は報告を受けているという形です。それでは問題があるという事であれば、意見書を出したりする。」
B 委員	「そうすれば、Aさんが質問している内容には、決定している事を説明している訳ですね。それならAさんが一生懸命頑張っても通らない話になってしまう。」
佐藤産業課長	「もう一つですが、この前お話の中でどうしても不都合があるという事であれば、来年に向けて重要な課題として改善の方向で進めていくという事を申し上げておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。」
議長	「今まで湯沢方面の学校からも来てますが、市外の方々にこの状況をPRしたり、また改善してほしいという要望があった場合どうしますか。」
佐藤産業課長	「スポ少については、熱心に使っていただいている湯沢の小学校がありまして、毎年来ていただいております。今日連絡してこういった営業日、こういったものについての詳しい資料をお送りするという事で今日明日発送する予定であります。雄勝方面については、前も行っております。今年も行く予定でありますけれども、松ノ木峠の方はいいけれども、立石峠は冬は非常に交通の便が悪いという事で怖いという声もありましたので、今年あたりどうかなと思っておりますけれどもPRしていきたいなと思っております。」
A 委員	「でもやはりこの営業状態だと、外にPRすると言ってもPRするなんて事はとてもじゃないけど考えられないですよ。」
議長	「それは2月の営業日数が少ないという事が問題な訳ですよ。」
佐藤産業課長	「正直申し上げまして、2月についても我々としては精一杯営業日を設定していただいたと思っております。」
A 委員	「予算の締め付けが、最初から枠があって、その範囲でどのように営業するかという事を考えた場合にこういう結果になったという事ですか？」

佐藤産業課長	「いずれこのスキー場の運営については、厳しい意見もありまして経営改善化計画、何度となく揉んでまいりましたが、その結果がこのような営業日の設定という事になっておりますので、それについて予算という事でご決定いただいておりますのでご理解願う以外にありません。」
A 委員	「こういう計画でやるという事で予算を要求した訳ですか？」
佐藤産業課長	「やはりこういう営業日数の縮減という事になりますと、それなりに従業員を減らさなければならないと、営業日数を減らさなければならないという事でございますのでよろしくお願いしたいと思います。食堂も外注という形で、幸い食堂については営業日は食堂も営業していただけると、メニューも今まで通りかそれに近い形でやっていただけるという事でございます。」
植村総合支所長	「予算が先にありきという事ではなかったのです。矢島スキー場とオコジョランドスキー場というのは、このくらいの近距離にある中で、市としてはやはりどちらかを落とすとかそういう事ではなくて、連携を持ちながら運営していかなければならないのではないかという中で、一つはオペレーターという部分でも、極端に減らしてもまだ空き時間があるものですから、この空き時間の作業員をどうするかという問題もありました。これは、空いた時は矢島スキー場で働いていただくというような経営改善も図っております。今回一番このスキー場の経営改善化計画で目玉に置いたのが、子供達の冬季のスポーツをどういうふうな捉え方をするかというのが、一つの大きい主眼として見ておりますけれども、1月については冬休みに入るという事で万全の体制でこのような計画を作ったんですけれども、2月については子供達の事も当然ありますけれども、これまでのお客さんの数を3年間分全部洗い出したんです。そうしたところ、2月になると利用客が極端に少なくなるものですから、やはりどこかで日数を減らさなければならないという事で、このような日程表を組んだところなのですが、ただ一つ言われたのは、先程から出ておりますけれども、スポーツ少年団の練習日の事です。スポーツ少年団の親の会からも日中の時間についてはこれでいいんだけど、ナイターをもう少し増やしていただけないかという要望はありました。ありましたけれども、今回なんとかこの形をお願いできないでしょうかという事で、押しつけではないですけれどもお願いしたところ、来年に向けた課題として捉えていただく事にしまして、今年はこれでやってみましょうかという事で結論いただいたところでございます。スポーツ少年団の方から見れば不足という事はありますけれども、今年度スキー場を継続的に営業していくという理解も持ってる訳ですので、第1段階として、これで了解いただいたという形をとらせていただいた訳です。」
議長	「今、総合支所長さんから今までの経緯とスポ少との話し合いの結果を踏まえてお話があった訳ですけれども、20年度はこれでやってみて、21年度は内容によっては変わる可能性があるという事でありましたけれども。」
C 委員	「更に合理化を進めていけば、少なくなっても増えるという事は考えられないと思う。こういうふうに決めてしまえば、おそらく営業日数だって、もう少し増やせないかって話が出てきても、増やすのはほとんど不可能だと思う。利用者が増えて、やはりこれでは足りないから日数を増やしてくれと、こういう形で要望しないと減る事はあっても増えない。」
議長	「実績が重視される内容のものですから、PRして実績を確保して。ただ、去年は3月23日まで営業しているのを、今年は3月1日までとなっているのは、

やはり3月の利用実績は過去少なかったという事でしょうか？3月1日は日曜日だから、もし2月28日が日曜日だったら2月いっぱい終わる事になっていたのか。この地域協議会としては、過去3年間のデータを踏まえて今年度は状況を見ようという事なので、地域でPRしながら存続されるよう支援というか、関心を持ちながら。通えと言われても、我々なかなか出来ない事なので、ご協力をお願いしたいなと思います。まず実績を作れば話は変わってくるという内容のようでございます。」

A 委員

「その趣旨はよく分かりました。それで、利用者が少なくなるという2月、それから1月、これは去年のデータがあると思いますので、何人くらい利用しているのか教えてください。それを示していただかないと、机の上だけの計画に聞こえて理解しがたいものですから。」

佐藤産業課長

「スキー場における利用人員、19年度につきましては9802人でございます。そのうち、12月が775人、1月が4992人、2月が2731人、3月が1304人となっております。18年度の合計が9374人、12月が175人、これは暖冬で営業開始が遅れたという事が原因だと思います。1月が4492人、2月が3338人、3月が1361人となっております。17年度は合計が8281人、12月が1063人、1月が4535人、2月が1627人、3月が1056人となっております。」

A 委員

「全てこれに基づいた計画だそうですので、決まった事でもあるようですし、なんともならないという事なので納得せざるを得ない、というか納得はしていないけれども我慢しなければならないという事です。敢えて付け加えれば、2月は利用者がけっこういますよね。それを敢えて切ったというふうに私には受け取れますけど、今年状況を見て来年どうするかというお話もありましたけれども、これだけ営業日を減らしてしまえば増える実態が無いという事なので、これ以降は縮小に向かう一つの姿を提示させてもらったと、そういうふうに受け止めざるを得ない。もう少し人数を考えてみれば、2月はもう少し営業日を増やしてもいいと確実に言えると思いますので、出来ればもう一度机の上で計算の仕直しをやっていただければいいなと思います。」

議長

「先ほどから2月は利用者が不足だという事で懸案事項になっておりますが、今までの実績見ると、皆さんもうちょっと増やしてもいいんじゃないかという事になりますので、もうちょっと柔軟に対応してもらいたい。それから、私の方からですが、この暖冬で雪がありませんので、12月に営業計画通りに行かなかったとすれば、その分を2月に増やしたり3月に持ち越したりする事が可能かどうかという事です。」

佐藤産業課長

「25日から営業を開始する予定ですがけれども、天候を見ますと微妙かなという感じがいたします。ご質問に対しては、私の方から即答出来るものではないと思います。まず12月の経過を見ながら、また1月の天候を勘案しながら、協議していくしかないなと思っております。即答は出来ません。」

議長

「いずれにしても、せっかくの施設ですので柔軟性を持って対応してください。この次の地域協議会は3月になるだろうと思いますが、その時には今年度の利用実績も示していただきながら、少しでも地域協議会の声がいかにされるようお願いしたいと思います。」

次にその他として総合支所各課長より、連絡事項がありましたらお願いします。」

清水振興課長

「振興課から連絡します。毎年行っている申告相談ですが、来年の２月１０日から３月１６日まで行う予定です。それから選挙の話になりますけれども、新聞等で報道されておりますが、４月１２日知事選挙が行われる予定で、それに伴い、市長選挙と市議選挙の補欠選挙が行われる予定です。それから、お手元にケーブルテレビの音声告知放送の資料をお配りしておりますが、本日行政協力員会議において操作方法の説明を行いましたので、町内の連絡事項等ありましたらご利用ください。以上です。」

佐藤建設課長

「建設課からのお願いでありますけれども、もう既に行政協力員を通じて除雪に対してのお願いというパンフレットを各世帯にお配りしております。もう一度読んでいただきまして、なんとかご協力をお願いしたいと思っております。行政協力員会議の中でも申し上げましたが、鳥海地域において除雪にかかる経費という事で、皆様方にご承知おきいただきたいと思います。１７年度の決算ベースで行きますと、１億５７１１万９５３０円、１８年度決算では１億２５２６万８９７３円、１９年度決算で１億１６５４万９３６０円となりますけれども、１９年決算には市でまとめてドーザを買っておりますので１３００万ほどプラスになります。そうしますと、およそ１億２千万という額が１２月から３月いっぱいまでかかるという事でございます。本年度臨時のオペレーターが２８名という体制で各センターに配置しておりますので、なんとか除雪についてご協力方よろしく願います。以上でございます。」

佐藤教育学習課長

「教育学習課からは、先ほど行政協力員会議の中で若干お話申し上げましたが、今回学校環境適正化検討委員会の方から第三次提言が出されまして、学校の統廃合について提案がなされました。これにつきましては、今月の５日の魁新聞、或いは１２月１５日号の広報に掲載されておりますけれども、その中に、今日皆様には資料として広報の写しと小学校の児童数の動態調査という事で、平成２７年までには激減していくという資料をお配りしております。前回の地域協議会の中でも申し上げておりますけれども、各地域で地域懇談会を開催しまして、市が考えているのは鳥海地域の３つの小学校を１つにして、平成２５年４月の開校に向けて、なんとか統廃合或いは学校建設に向けた取り組みをしていかなければならないなという考えでございます。その前段としまして、直根小学校はご存じのとおり複式学級が２学級あります。地域の親御さん方は、なんとかこの複式学級の解消という事で、出来るならば早めに統合して欲しいという要望も出されておりますし、来年度の新入学生は４人という事であるようで、直根小学校全体の児童数が３７人と、来年には４０人を割ってしまう状況にあります。そうした事を踏まえまして、来年度には地域検討委員会という会、仮称であります、そういった会を立ち上げまして、市の方針を説明し、新しい学校建設について地域の方々と協議いたしたいという事で、現在進めております。この事については、今回の議会の委員会の中でも話がなされておまして、先月の１５日ですか、直根小学校に建設常任委員会の方達が視察に来られております。そして、今後の具体的な進め方等につきましては、市教委では地域協議会に出向きましてご説明申し上げたいと考えているようですので、一つご理解いただきたいと思います。」

村上鳥海診療所事務長

「診療所からご連絡申し上げます。診療所における年末年始の休診についてでございますが、広報１２月１５日号にも掲載しておりますし、また本日の行政協力員会議でもご連絡しております。鳥海診療所と直根診療所につきましては、１２月３１日から１月４日まで休診となります。鳥海診療所におきましては、休診日でありましても急患については随時診察いたします。直根診療所の診察日が火曜日と木曜日という事で１１月からやっておりますが、１２月２３日が

火曜日ですが休みになるものですから、22日笹子診療所の診察が終わった後、午後から直根診療所の診察を行うという事で、これについても診療所の玄関、待合室等にお知らせを掲示しております。笹子診療所におきましては12月30日から1月4日まで休診となります。薬をもらう患者さんには適宜連絡したり、或いはお知らせのチラシ等で連絡しております。それから、診療所の診察日が変更になっておりますが、実は直根診療所の秋山先生が2箇所診療という事で、笹子診療所と掛け持ちしながら診察を行っております。直根診療所の診察におきましては、11月から火曜日と木曜日、月水金が笹子診療所。いろいろ医師とお話しまして、1月5日月曜日であります。笹子診療所の診察が終わったら、午後から直根診療所の診察をやってくださるという事でございます。木曜日は第一病院の先生にお出でいただいて、秋山先生は内科医でございますし、第一病院の先生は外科医でございますので、直根診療所の中に2人の先生がいて診察にあたるという事になります。笹子診療所におきましては、水曜日は秋山先生と外科の先生の2人となります。地域に根ざした医療の確保という事で診療にあたっていく所存でございます。以上です。」

議長

「ただいま、それぞれの課長さんから説明していただきましたけれども、特に学校関係につきましては資料も準備されて、今現在学校の総数は矢島、由利より多いんです。将来は少なくなる。川内小学校も28年度には2年3年が複式学級になります。そういう状況に入っておりますので、鳥海ではこの事を避けて通れないという事で、こうした提言がある訳です。ただ、川内小学校に直根小学校が吸収されるという内容のものではないという事を確認していただきながら、この事についてはこの後いろいろとお話する機会があると思いますし、地域の理解が前提でありますので、皆さんもこうした数字を見ながら、関心を持ちながらいろんな形でお願いしたいなと思います。」

清水振興課長

「鳥海総合支所長より締めのおあいさつを申し上げます。」

植村総合支所長

「長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。佐藤、高橋両議員さんにはご臨席賜りまして誠にありがとうございました。スキー場の協議についてでありましたが、産業課長からお話がありました通り、この次はもう少し丁寧な資料を出しながら進めたいと考えている所であります。何はともあれ、このような雪の無い状態が続いておりますけれども、去年のスキー大会は大吹雪でありました。その時、佐藤エイイチ先生が挨拶の中で言っておりましたけれども、今日はスキーには絶好のコンディションだと、なぜかなあと思ったんですけれども、スキー場に雪があるからなんだそうです。やはり25日から営業となれば、子供達が冬休みに入る時期なので、なんとかスキー場だけで結構ですので、雪が降るように願いながら、閉会の挨拶とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。」

清水振興課長

「長時間に亘り、大変ご苦労さまでした。次回の地域協議会は、3月下旬を予定させていただきます。委員の皆様には繰り合わせの上ご出席いただきますよう、よろしくご理解とご協力をお願いします。」

閉会 午後4時30分